

2月 モニターレポート		担当出張所	枚方出張所
担当区間	淀川中流左岸 大阪市守口市境界 ～ 枚方大橋（左岸14.6KM～25.7KM）		
モニター実施日時	令和3年2月 6日（土） 11:00時頃～14:30時頃 令和3年2月21日（ ） 13:00時頃～15:30時頃		
天 候	6日 晴れ	日 晴れ	
<p>(見出し)</p> <p>担当区間は、全区間を一度、モニター実施することとします。</p> <p>また、3分割した区間毎の状況について別途日時を設定し、モニター実施させていただきます。</p> <p>モニター開始</p> <p>担当区間全域確認 6日実施 大阪市守口市境界 ～ 枚方大橋</p> <p>分割区間確認 21日実施 第2分割区間 寝屋川新橋上流～鳥飼大橋上流部</p>			
<p>(内容)</p> <p>2/ 6 実施</p> <p>担当区間全域（大阪市守口市境界～枚方大橋）確認</p> <p>快晴の中、河川流量の変動や河川敷環境の確認も兼ね、穏やかな気候の下、モニター活動を実施した。堤防敷は、季節柄、草木は枯れており、かえって季節感があり、広々とした雰囲気醸し出していた。利用者はそれぞれの形で淀川河川敷の自然環境を楽しんでおり、有用な環境施設と再度実感した。今回のモニターでも河川事務所の維持管理工事が様々な箇所で行われているのを見分した。流水部すぐ側の部分で、親水空間創出のための環境整備工事が施工されていた。河川敷部からすぐ横に流水部を実感できる空間の創出は、まさに【親水】を実感できる空間として意義ある工事と思う。工事部には、周知の為、工事内容の概要を示す標示が設置されている。工事期間や工事名等が記載されていたが完成予想図があれば、より親近感のある工事として、分かり易く利用者の関心を引くと思う。利用者の満足度や河川環境への親近度向上に、有用と考えるので検討されたい。設置については、工事の工事管理費で賄えるのでは？ 最後に、治水事業の発展と施工での創意工夫を期待します。</p> <p>当日の状況写真等</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>穏やかな天気下での利用者 それぞれの自然を楽しんでいた</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>堤防上の通路 車通行 車利用者に注意喚起は必要！</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>草木は枯れていたが、 かえって見晴らしが確保！</p> </div> </div>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>堤防部の工事施工 外側部分施工に納得</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>流水側の環境改善工事 親水空間整備に期待する</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>親水空間整備工事周知看板 完成予想図などあればベター！</p> </div> </div>			

(内容)

2月21日実施 第2分割区間 寝屋川新橋上流～鳥飼大橋上流

緊急事態宣言が発令されているが、市民の動きが制限された中でどのような利用状況にあるのか？

天候も良く、快晴の中で利用状況確認も兼ねてモニター活動を実施した。

最近のコロナ感染の減少状況もあり、比較的のんびりとゆったりとそれぞれの形で利用する住民の姿が視認できた。緑化率の低い大阪の中で、数少ない緑の自然の保全に向け益々の施策強化を期待します。

また、今回の活動の中、灌漑用水にも流水資源が活用されていることが学習できた。生活や工業用水の利用だけではないと、改めて我々にとって身近な淀川の存在価値を認識した。

何か所でごみの不法投棄を視認した。折角の我々にとって身近な存在である淀川自然環境保持は欠かせないと思うので、愛護意識の向上が求められると思う。私達、個人個人の気持ちの持ち方が問われていると感じた。改めていきたいし、この気持ちを様々な方面で発信していきたいと思っている。

貴事務所に於かれて、何か実効性のある方策があれば検討願いたいと思う。

施工されている【親水空間整備工事】への期待が大きくなっている。釣り堀やワンド等とは違った形を想像しているが、親水という表記ですが今から完成を心待ちにしているところである。水資源の管理のみならず、流水域環境保全に努められている貴事務所の益々の充実した事業展開を期待する次第です。

利用者の満足度向上に繋がると思います。

以下当日の状況写真



穏やかな天候の下
市民はそれぞれの形で親しんでいた



堤防の両サイドは
程よく草木が枯れている状態



親水空間工事に伴う積土土
再活用への期待



民間団体のVol植栽の芽吹き
他の箇所でも発見（拍手）



見えない部分にゴミ投棄
我々利用者の愛護意識が大切



流水資源の活用再発見
生活・工業に加え灌漑用水

(意見・感想・処置等)

本欄に関しては、内容記載部分で大部分触れているので参照されたい。

若干の想いを記載したい。緊急事態宣言等最近の社会状況に応じて【お家時間】の活用と充実が喧伝されている。モニター活動を通じて、様々な形で利用する多くの住民の姿を視認しているが、【淀川河川環境】への注目が今まで以上に集まると思う。これまでも尽力されて来ていると拝察するが、貴事務所の行政施策の益々の充実発展を祈念するものです。

(意見・感想・処置等)

2月のレポート有難うございました。

親水空間創出のための環境整備工事は水辺との連続性・アクセス性を改善し、点野ワンドや点野砂州の自然環境の保全事業と連携した住民団体等の水辺での利活用に資するための高水敷の切り下げを実施するものです。

高水敷の切り下げと低水敷のワンド整備により、水辺環境を再生しそこに生育生息する動植物と触れ合い、川らしい利用ができる空間を創出することを目的としています。

工事を実施する際は沿川住民や河川利用者の皆様により親近感のある工事として、分かり易く関心を引くよう工夫に努めてまいります。

淀川の水は古くから灌漑にも利用されてきました。

モニターしていただいた灌漑用水を取水するための木屋用水機場は、むかしは淀川左岸土地改良区という大きな土地改良区があったのですが、都市化に伴いその受益地が減少し解散したため現在は受益地のある自治体で管理しています。

それでは3月のレポートをお待ちしております。